東京医科歯科大学医学部保健衛生学科

School of Health Care Sciences, Faculty of Medicine, Tokyo Medical and Dental University

看護学専攻
Nursing Science

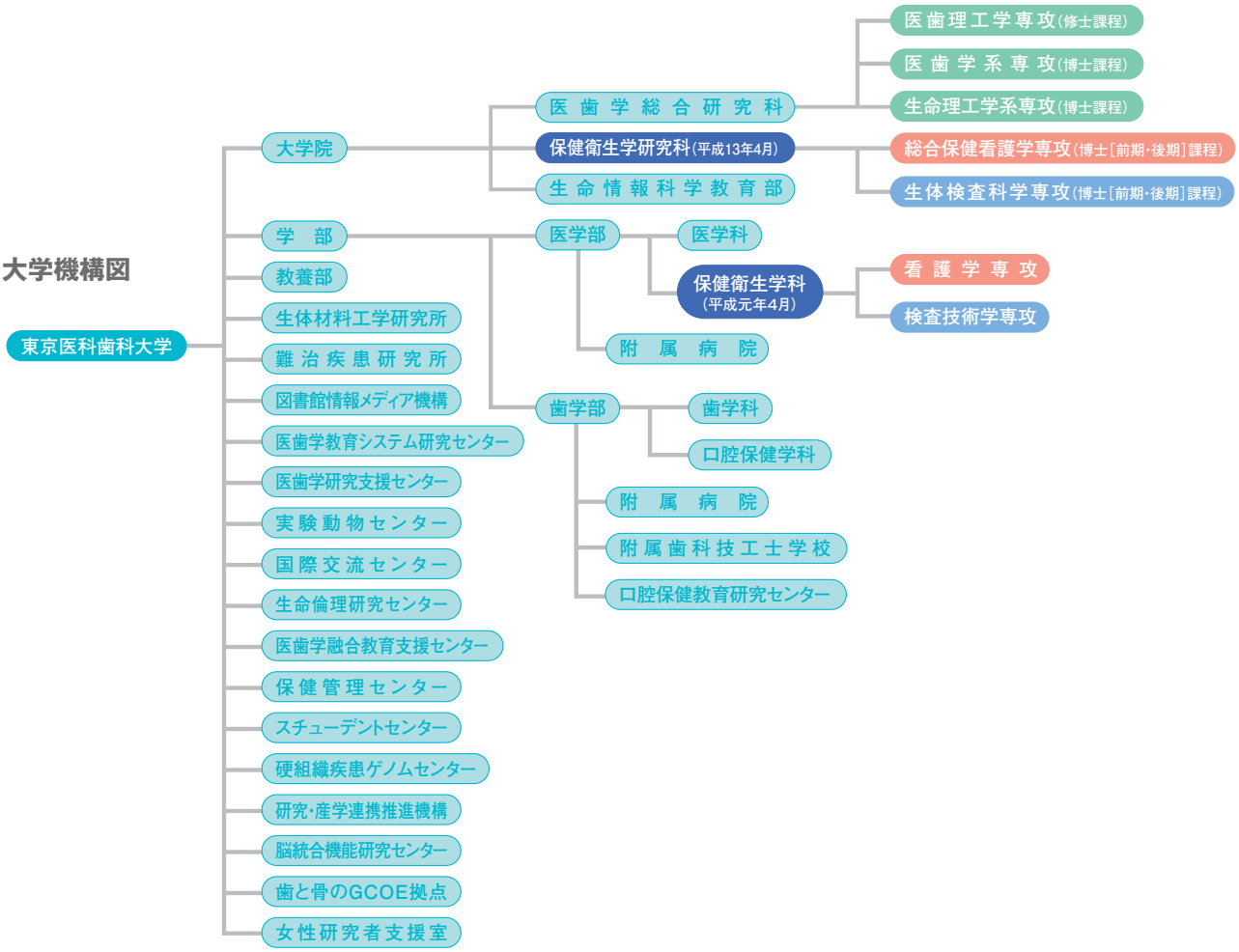
検査技術学専攻
Medical Technology

2012.07

東京医科歯科大学の教育理念

- 幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性の涵養
- 自己問題提起・自己問題解決型の創造的人間の養成
- 国際性豊かな医療人の養成

大学機構図



医療チームの看護師・保健師・臨床検査技師としてのトップを目指す教育体制

保健衛生学科の教育理念

本学科は豊かな教養と高い倫理観に裏付けられた医療人としての感性を有し、自ら学び研究し、創意工夫することができる人間の形成を目指します。その視点に立ち看護学、検査技術学の２つの領域において、それぞれの専門的領域の知識、技術を教授することにとどまらず、学際的視野に立ち自ら問題を提起し、これを解決する能力を備えた医療人を養成します。

あゆみ

・学科の創立は平成元年ですから、まだ24年しかたっておりませんが、国立大学で初めての4年制の保健衛生学科として誕生しました。

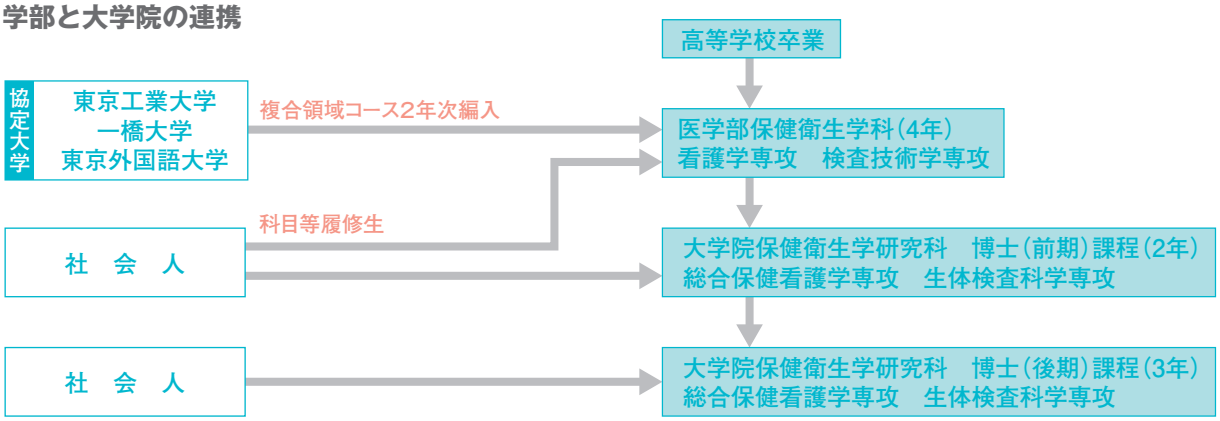
・大学院は平成5年4月に博士（前期）課程、平成7年4月に博士（後期）課程が設置され、国際的に通用する本格的な教育者・研究者及び高度な専門職業人の養成を行っています。なお、平成13年度から大学院は部局化（重点化）され、保健衛生学科の教育研究組織は新しい大学院大学（保健衛生学研究科）に移行しました。部局化（重点化）された大学院と学部との有機的な連携のもとに、大学院の教員が保健衛生学科の教育を行っています。21世紀を迎え平成16年4月には医歯学総合研究棟（現、3号館）が完成し、本学科も新棟に移転し、教育研究体制も益々充実してきました。

平成元年4月	東京医科歯科大学医学部保健衛生学科（看護学専攻・検査技術学専攻）設置（平成22年度募集定員：下記参照）
平成3年3月	医学部附属看護学校及び医学部附属臨床検査技師学校の閉校
平成5年4月	東京医科歯科大学大学院医学系研究科保健衛生学専攻（修士課程）設置（募集定員:看護学領域14名、検査学領域10名）
平成7年4月	東京医科歯科大学大学院医学系研究科保健衛生学専攻博士（後期）課程設置（募集定員：看護学領域5名、検査学領域4名）
平成13年4月	東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科2専攻設置　　総合保健看護学専攻、生体検査科学専攻 博士（前期）課程募集定員：総合保健看護学専攻17名、生体検査科学専攻12名 博士（後期）課程募集定員：総合保健看護学専攻8名、生体検査科学専攻6名

学部募集定員

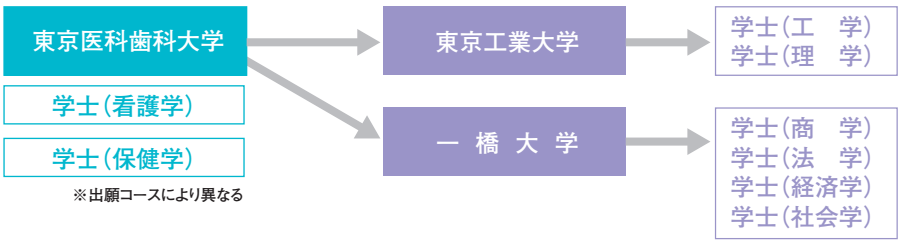
	修業年限	募集定員	内訳		
			一般選抜		特別選抜
			前期日程	後期日程	推薦入学
看護学専攻	4	55	35	―	20
検査技術学専攻	4	35	30	―	5

学部と大学院の連携



複合領域コース（四大学連合）の履修による複数学士号取得の道

関連大学への「編入学」により、編入学先の大学で学士号の取得が可能。



専門分野の第一線で活躍する教員による指導

総合保健看護学専攻

Comprehensive Health Nursing Sciences

地域・在宅ケア看護学講座

- 地域保健看護学分野　（教授 佐々木　明子）
- 在宅ケア看護学分野　（教授 本田　彰子）
- リプロダクティブヘルス看護学分野（教授 大久保　功子）
- 精神保健看護学分野　（教授 宮本　真巳）

看護機能・ケアマネジメント開発学講座

- 生体・生活機能看護学分野　（教授 齋藤　やよい）
- 小児・家族発達看護学分野　（教授 廣瀬　たい子）
- 先端侵襲緩和ケア看護学分野　（教授 井上　智子）
- 高齢者看護・ケアシステム開発学（教授 緒方　泰子）
- 看護システムマネジメント学　（准教授 深堀　浩樹）

健康教育開発学講座

- 健康情報分析学分野　（教授　佐藤　千史）
- 健康教育学分野　（准教授 森田 久美子）
- 国際看護開発学分野　（教授　丸　光恵）

生体検査科学専攻

Biomedical Laboratory Sciences

生命情報解析開発学講座

- 分子生命情報解析学分野　（教授　赤澤　智宏）
- 形態・生体情報解析学分野　（教授　星　治）
- 生命機能情報解析学分野　（教授　松浦　雅人）
- 生体機能支援システム学分野　（教授　伊藤　南）

分子・遺伝子応用検査学講座

- 先端分析検査学分野　（教授　戸塚　実）
- 生体防御検査学分野　（教授　窪田　哲朗）
- 分子病態検査学分野　（教授　沢辺　元司）
- 先端血液検査学分野　（准教授　小山　高敏）
- 先端生体分子分析学分野　（准教授　笠間　健嗣）

看護学専攻の特徴

高度先進化する科学技術の基礎的理解力をもち、高齢化社会における保健医療・福祉等のさまざまな職種と連携して、専門職としての役割を果たす人間性豊かな人材を育成することにあります。

検査技術学専攻の特徴

先端医療技術の進展に対応しうる学際的視野と研究能力を有する資質の高い人材及び医学・保健医療における検査技術の発展とその教育・指導に従事する人材を育成することにあります。

教育内容

教養部における全学共通科目の履修を経て、看護学専攻あるいは検査技術学専攻専門科目を履修します。

看護学専攻では、専門基礎分野、専門共通分野の科目を通して看護学領域における基礎知識を修得した後、基礎看護学、臨床看護学、地域看護学、在宅看護学などについてそれぞれ講義と臨地実習による教育を受けます。

検査技術学専攻では、形態・病態制御学系、物質・代謝学系、機能調節・制御学系、病因・病態学系、検査管理・社会医学系、総合分野などの各科目について講義と実習による教育を受けます。4 年次には特論（卒業研究）と臨地実習があります。平成 17 年度から健康食品管理士受験資格取得のための新たな選択科目として、「健康食品総論」を開講しました。

卒業すると取得できる学位・資格

看護学専攻
学位：学士（看護学）
資格：看護師国家試験受験資格
保健師国家試験受験資格
［保健師免許取得者：
養護教諭普通免許（二種）］

検査技術学専攻
学位：学士（保健学）
資格：臨床検査技師国家試験受験資格
健康食品管理士受験資格

教養教育・専門科目の教育との連携

1 年次

教養部国府台のキャンパス（千葉県市川市）で医学科、歯学科及び口腔保健学科の学生と共に学び、チーム医療人としての自覚を持ちます。また、教養教育と学部専門教育の連携をはかり、1 年次は週 1 日火曜日は湯島地区で学びます。

教養部の教育理念

リベラル・アーツの重視

教育目的　1) 学際的、複合的視野の獲得　2) 能動的課題探求と理論的思考の育成
3) 表現技能（リテラシー）の育成　4) 社会的規範と健全な心身の育成

カリキュラムの基本方針

リベラル・アーツの一層の充実　リベラル・アーツと連携教育の内容の明確化

週 4 日：リベラル・アーツ　担当：教養部教員　実施場所：国府台地区
週 1 日：連携教育科目　担当：教養部と学部教員との合同　実施場所：湯島地区
　　学部専門科目　内容：生命科学・医療人間概論・先端医療技術論

①2 学期制の採用　新カリキュラム：前期 15 週／後期 15 週
②教養セミナーの導入：1 科目 10 人程度
③自由選択科目の更なる充実：必修科目の軽減
④実験・実習の重視：科学基礎実験の新設　60 時間
⑤英語教育の充実：1 年間を通して週 2 コマ必修

連携教育科目

- 専門教育の基礎となる部分を重点的に取り上げ、専門教育へのスムーズな橋渡しを図ります。
- 生命科学として、ボトムアップからアドバンストコースまで総合的に学習します。

自 然 科 学
1）生物学入門（看護学専攻）、物理学又は生物学又は化学入門（検査技術学専攻）
　ボトムアップを図ります。
2）生物学基礎／化学基礎（看護学専攻）、物理学／化学／生物学（検査技術学専攻）
　本論（自然科学の基礎的事項を学びます）
3）科学基礎実験／科学基礎演習
　研究レベルの内容に踏み込んだアドバンストコース

医療人間概論
・医療人間学概論（倫理学）
・　〃　（法学）
・医療人間学セミナー（Ⅰ）（Ⅱ）（法学）
・　〃　セミナー（倫理学）
必修科目とし、幅広い医療人としての素養を養います。

学部専門科目

連携教育科目開講日に同時開講

- 看護学専攻では、「解剖学Ⅰ」、「基礎看護学Ⅰ」、「看護心理学」、「看護の統合と実践Ⅰ」、「基礎看護学実習Ⅰ」を、検査技術学専攻では、「人体構造学講義（Ⅰ）」、「先端医療技術論」を 1 年次に学習します。

英 語 科 目

1 年間にわたって 30 週　週 2 コマ必修

1 年生必修（4 単位・入学時の TOEFL 成績による 6 段階の能力別編成）
1a：会話（クラスサイズを半分にして、より効果的な習得を目指します）
1b：PRISM（自主教材によるリーディングコース）
1c：SCOPE（自主教材によるリーディングコース）
1d：聞き取り・ボキャブラリー拡大（LL 使用）

専攻別カリキュラム

取得単位数

全学共通科目	29単位
専門科目	95単位
卒業単位計	124単位

	専門基礎分野	専門共通分野	専門領域別分野
1年次	解剖学Ⅰ		基礎看護学Ⅰ、看護心理学、 看護の統合と実践Ⅰ、基礎看護学実習Ⅰ
2年次	解剖学Ⅱ、生理学、 生化学、薬理学Ⅰ・Ⅱ、 病理学、微生物学、 栄養学、病態学、 英文講読Ⅰ、 専門基礎合同演習	医療情報学、 保健医療福祉制度論	基礎看護学Ⅱ、基礎看護学Ⅲ、 基礎看護学演習Ⅰ、基礎看護学演習Ⅱ、 基礎看護学実習Ⅱ、 成人看護学Ⅰ、成人看護学Ⅱ、 精神看護学、小児看護学Ⅰ、 小児看護学演習Ⅰ、在宅看護学Ⅰ
3年次	疫学、英文講読Ⅱ	卒業論文Ⅰ	成人看護学Ⅲ、成人看護学演習、 成人看護学実習、地域精神看護学、 精神看護学演習、精神看護学実習、 小児看護学Ⅱ、小児看護学演習Ⅱ、 小児看護学実習、 母性看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、 母性看護学演習、母性看護学実習、 老年看護学、老年看護学演習、 リハビリテーション看護学、 老年看護学実習、地域保健看護学Ⅰ、 地域保健看護学Ⅱ、在宅看護学Ⅱ、 在宅看護学演習、在宅看護学実習
4年次	英文講読Ⅲ	保健統計学、 国際保健看護学、産業保健学、 健康教育学演習、 卒業論文Ⅱ	看護の統合と実践Ⅱ、 看護の統合と実践実習Ⅰ、 看護の統合と実践実習Ⅱ、 緩和ケア看護学、地域保健看護学Ⅲ、 地域保健看護学演習、地域保健看護学実習

在宅酸素療法体験（在宅看護学演習）

手術室実習（成人看護学実習）

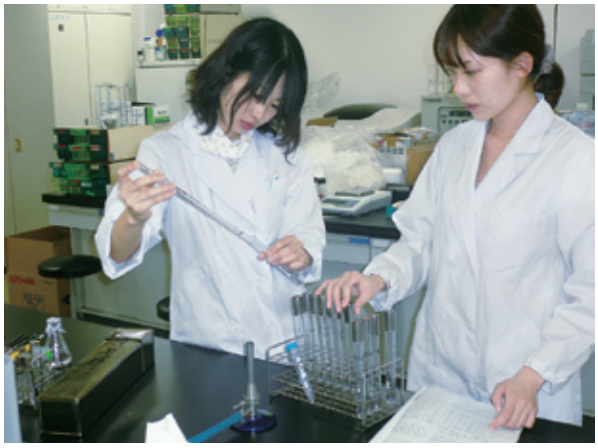
検査技術学専攻 カリキュラム

Medical Technology

取得単位数

全学共通科目	32単位	
専門科目	必修科目	97単位
	選択必修科目	6単位
卒業単位計	135単位	

1年次	人体構造学講義（Ⅰ）、先端医療技術論	
2年次	人体構造学講義（Ⅱ）、人体構造学実習、病理検査学講義、病理検査学実習、生化学講義、生化学実習、分析化学検査学講義（Ⅰ）、医用システム情報学講義（Ⅰ）、医用システム情報学実習（Ⅰ）、生理検査学講義（Ⅰ）、生理検査学実習（Ⅰ）、病原体検査学講義（Ⅰ）、病原体検査学実習（Ⅰ）、遺伝子・染色体検査学講義、検査管理学、医学情報処理演習（Ⅰ）、公衆衛生学講義、公衆衛生学実習、医療概論・関係法規、臨床病態学（Ⅰ）、医学英語演習（Ⅰ）	**選択必修科目**（平成23年度開講科目） 遺伝学、神経科学、電子顕微鏡学、生体医工学、臨床心理学、パフォーマンス論、分子生物学、科学の中の化学、心臓生理学、癒しの生化学・分子生物学、睡眠科学 **自由選択科目** 健康食品総論、薬理学
3年次	血液検査学講義、血液検査学実習、分析化学検査学講義（Ⅱ）、分析化学検査学実習、医用システム情報学講義（Ⅱ）、医用システム情報学実習（Ⅱ）、生理検査学講義（Ⅱ）、生理検査学実習（Ⅱ）、病原体検査学講義（Ⅱ）、病原体検査学実習（Ⅱ）免疫検査学講義、免疫検査学実習、遺伝子検査学実習、医学英語演習（Ⅱ）	
4年次	医学情報処理演習（Ⅱ）、臨床病態学（Ⅱ）、総合講義、臨地実習、卒業研究	



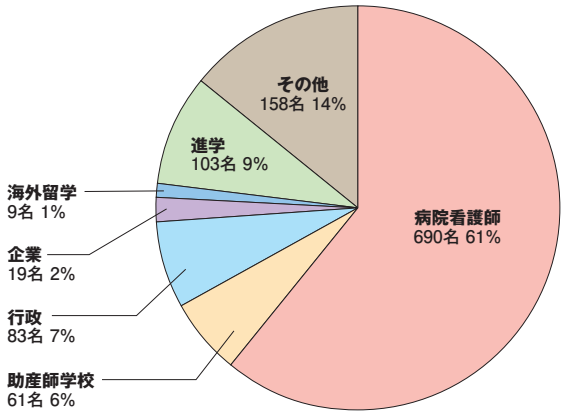
病原体検査学実習（Ⅱ）

人体構造学実習

卒業後の進路

看護学専攻　（平成24年5月1日現在）

学部　1,123名



看護学専攻　主な就職先

病院関係（看護師）

東京医科歯科大学医学部・歯学部附属病院
東京大学医学部附属病院
慶應義塾大学病院
聖路加国際病院
虎の門病院
日本大学附属病院
日本医科大学附属病院
東京慈恵医科大学病院
国立国際医療センター
東京都立病院
癌研有明病院
杏林大学病院
昭和大学病院
榊原記念病院
井之頭病院
三井記念病院
国立成育医療センター
神奈川県立こども医療センター
横浜市立大学附属市民総合医療センター
横浜市立病院
国立がんセンター病院（中央病院・東病院）
亀田メディカルセンター
埼玉県立病院
茨城県立こども病院
静岡県がんセンター
名古屋大学医学部附属病院
神戸大学医学部附属病院
京都大学医学部附属病院

企業関係（保健師）

NTT 健康管理センター
みずほ銀行健康管理センター
三菱東京 UFJ 銀行健康管理センター
日本航空健康組合
東京海上日動メディカルサービス
ジャパンケアサービス
セコム医療システム
日新火災海上保険
日本電気（NEC）健康管理センター
沖電気
日立製作所
HOYA

大学関係等

東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科
首都大学東京健康福祉学部
日本赤十字看護大学
慶應義塾大学看護医療学部
東京慈恵会医科大学医学部看護学科
東京大学先端科学技術研究センター
千葉県立保健医療大学
埼玉県立保健医療福祉学部
群馬大学医学部保健学科
自治医科大学看護学部
愛知県立看護大学
大阪府立大学看護学部
神戸大学医学部保健学科

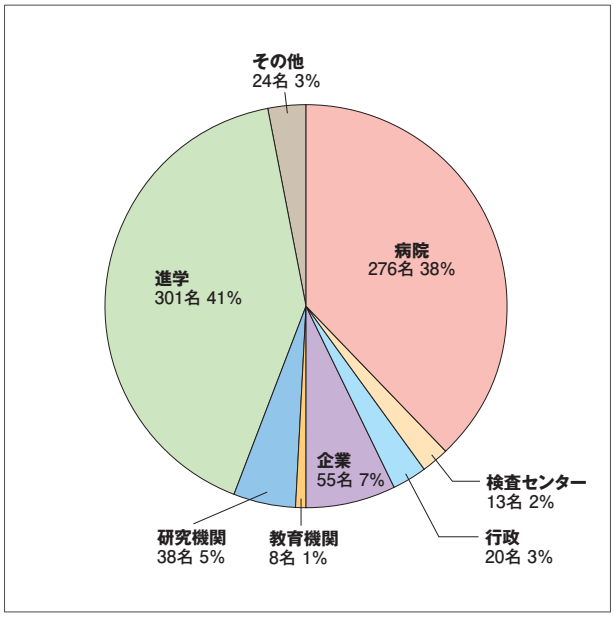
厚生労働省
日本看護協会

地域・在宅関係

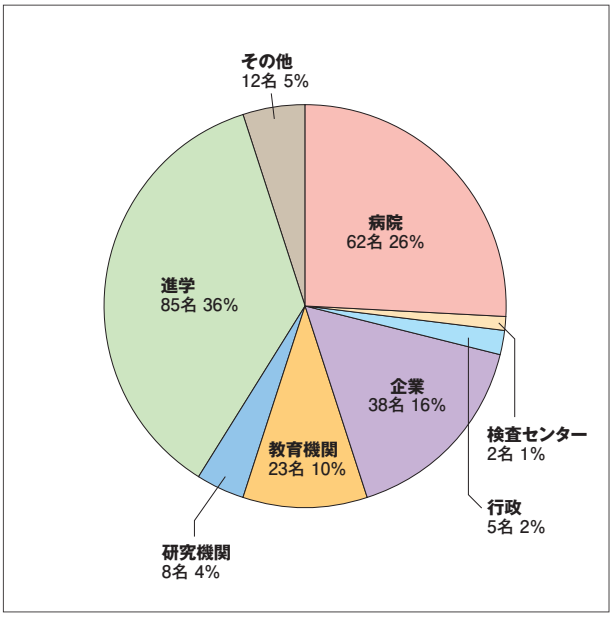
保健所
市区町村
訪問看護事業所
小中高等学校（養護教諭）

検査技術学専攻　（平成24年5月1日現在）

学部　735名



修士　235名



検査技術学専攻　主な就職先

病院関係

東京医科歯科大学医学部附属病院
　検査部･輸血部･臨床試験管理センター
東京大学医学部附属病院検査部・輸血部
千葉大学医学部附属病院検査部
慶応義塾大学医学部病院中央臨床検査部
九州大学医学部附属病院検査部
北海道大学医学部附属病院検査部
自治医科大学附属病院臨床検査部
東京女子医科大学病院
東京医科大学八王子医療センター
防衛医科大学校病院検査部
帝京大学医学部附属病院中央検査部
杏林大学医学部付属病院検査部
東京都立病院検査部　青梅市立病院
横浜市立病院　川崎市立川崎病院
日本赤十字社　日本赤十字社医療センター
松江赤十字病院　三井記念病院
虎ノ門病院検査部　聖路加国際病院
東京逓信病院　土浦協同病院
心臓血管研究所　横須賀共済病院
聖マリアンナ医科大学　やすこレディースクリニック
自衛隊中央病院
木場公園クリニック（エンブリオロジスト）

研究所

理化学研究所
国立精神・神経センター
東京都立衛生研究所
国立スポーツ科学センター
神奈川県衛生研究所
国立がんセンター
東京都健康安全研究センター
国立成育医療センター研究所
癌研究会
国際医療センター
癌研究所ゲノムセンター

大学関係

東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
岡山大学医学部保健学科
群馬大学医学部保健学科
山口大学医学部保健学科
神戸大学医学部保健学科
東北大学医学部保健学科
京都大学医学部保健学科
九州大学医学部保健学科
熊本大学医学部保健学科
茨城県立医療大学　日本医科大学
杏林大学医学部　埼玉医科大学
埼玉県立大学

企業関係

和光純薬工業　テルモ　秀潤社　カネボウ
医学書院　住友化学　武田薬品工業　フジテレビ
バイエルメディカル　グラクソ･スミスクライン　東芝メディカル　日本アイ･ビー･エム
大塚製薬　シェリングプラウ　羊土社　関東化学
ブリストル･マイヤーズスクイブ　クリニプロ　ジャル エクスプレス　帝人在宅医療東京
JFE システムズ　イーピーエス　シノテスト　シミック
三菱化学メディエンス

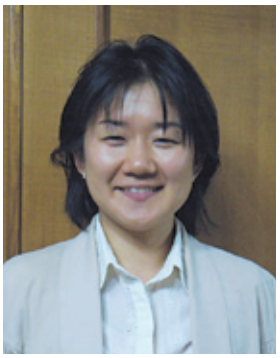
卒業生紹介

看護学専攻 卒業生

同窓会会長　江龍　伸子さん　第2回生

東芝ヒューマンアセットサービス㈱
保健支援事業部　保健師

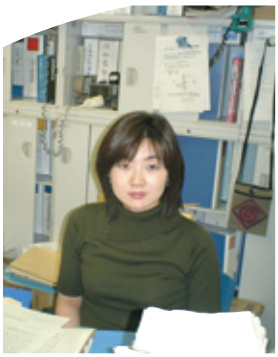
同窓会では、講演会や会誌の発行を通じて、卒業生同志や在校生と卒業生を繋ぐ活動をしています。私たちの卒業生は、附属病院や本学を始め様々な領域で活躍しています。お互いに情報交換や刺激を与え合う事で向上していきましょう。



習田　由美子さん　第1回生

厚生労働省　医政局看護課

私の携わっている仕事はすべての看護職が誇りをもってより質の高い看護が提供できるように臨地の経験を踏まえて行政側からシステムを整えることです。
看護だけではなく、国民生活の中の医療・看護のあり方を時代の中で考え、現場に発信していくことが大きな役割だと思っております。



森田　久美子さん　第3回生

本学大学院保健衛生学研究科 准教授

大学卒業後、大学院修士・博士課程を修了し、本学には計9年間、学生としてお世話になりました。現在は健康教育学の教員として、この頃は学生さんとの年齢差を感じつつも気分は若く、時には自分の学生時代を思い出しながら指導にあたっています。仕事と育児の両立はなかなか大変ですが、皆さんからパワーをもらっています。

半田　美織さん　第7回生

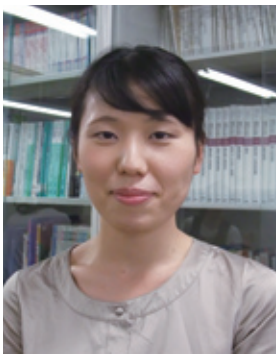
保健センター
保健師

赤ちゃんから大人まで、全ての人が、笑顔と安心にあふれた健康な生活を楽しめるよう、相談や家庭訪問、健診などを行い、さらに健康なまちづくりまでを考え、住民の方々の体と心の健康のマネージメントをしています。

佐藤　陽子さん　第13回生

本学大学院保健衛生学研究科 博士（後期）課程2年

大学卒業後、大学病院で勤務し、大学院に進学しました。大学院では、臨床で得た経験や疑問を様々な理論や文献を使って、新たな学びを得る毎日を過ごしています。先生方の講義やプレゼンテーション形式の授業、様々な臨床経験を持つ院生同士のディスカッションは看護師としての視野を広げてくれます。とても忙しいですが、深く学ぶ喜びを感じています。



染谷　彰さん　第15回生

本学医学部附属病院　看護師

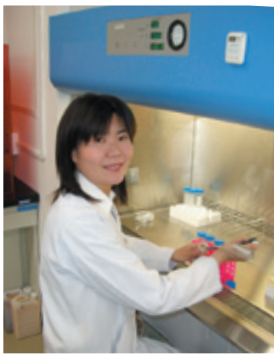
大学卒業後、本学附属病院という医療の最先端の現場で働くことに不安もありましたが、実践に即した看護技術の習練、実際の看護場面を想定し考えながら看護を実践できるような研修制度があり、自己の看護を高めることができています。患者さんからのありがとうの一言や患者さんが軽快されていく姿を糧に毎日忙しいながら看護師として充実した生活を送っています。

検査技術学専攻 卒業生

同窓会会長　栗原　由利子さん　第1回生

本学大学院保健衛生学研究科 助教

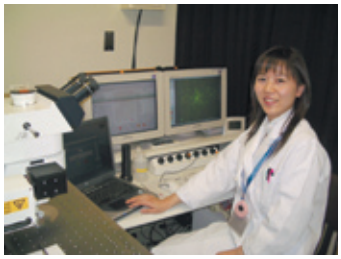
卒業後大学院（修士）を修了し、助手として大学で働いています。現在は新しい検査法を考案する研究をしています。また病院で行われている検査法を学生に教えています。大学では知的好奇心のくすぐられる毎日で、充実したやりがいのある日々を過ごしています。



髙木　佳子さん　第2回生

独立行政法人理化学研究所 脳科学総合研究センター

大学卒業後、研究室で実験助手をしながら論文博士を取得しました。現在は理化学研究所・脳科学総合研究センターの研究員として、脳の可塑性について研究をしています。子供の頃は柔らかかった脳が大人になると固くなる、というような誰もが実生活の中で実感する現象を、分子レベルで解明しようと日々研究に勤しんでおります。



斎藤　良一さん　第5回生

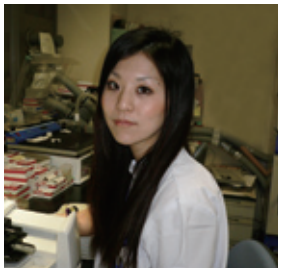
本学大学院保健衛生学研究科 助教

大学卒業後、東京大学医学部附属病院に臨床検査技師として入職し、日常業務に従事しながら博士を取得しました。国立感染症研究所の研究員を経て、現在は助教として教育および研究に励み充実した日々を過ごしています。

福井　夕貴さん　第15回生

本学医学部附属病院　病理部

学生時代からずっと病理に興味があり、現在病理部で臨床検査技師、また細胞検査士として勤務しています。
病理では、「目で見て、判断する。」という形態学的な要素が基本となり、遺伝学的な追究や様々な観点から、病気の最終診断を行います。
本病理検査室では、日々のルーチン業務だけでなく、研究や学会発表などにも意欲的に取り組める環境も整っており、周囲の刺激を受けつつ、充実した日々を送っています。



浅水　健志さん　第6回生

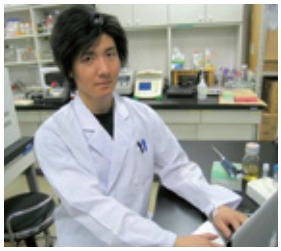
東京歯科大学市川病院 アイバンクセンター

わたしは、移植コーディネーターとしてアイバンクで働いています。 移植コーディネーターにはコミュニケーション能力も必要ですが 医学的知識も必要です。この大学で、医学に関し幅広く勉強できたことが今の自分の礎になっています。

石井　邦弥さん　第16回生

本学大学院保健衛生学研究科 博士（後期）課程2年

大学卒業後、本学大学院へ進学し神経の発生・分化異常を呈する遺伝子疾患の研究をしています。
大学４年間で培った知識は研究をする上での重要な基盤となっています。将来、幅広い知識・視野を持った教育者・研究者になるべく、日々尽力しています。



School of Health Care Sciences,
Faculty of Medicine,
Tokyo Medical and Dental University

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科

〒113-8510　東京都文京区湯島1-5-45
ホームページ　http://www.tmd.ac.jp/
学務部　教務課　TEL 03-5803-5119